

2025年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2025年1月31日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

目次

1. 経営戦略トピックス

2. 2025年3月期 第3四半期決算

3. 2025年3月期 業績見通し

4. 参考資料

5. 英文資料

1. 経営戦略トピックス

スローガン:「お客様と共に未来を創る」
 行動指針:「4C+F」+ α

アップデート 3.0
 (TDC,経営基盤強化)



革新

【TIB2.0】トラディショナルITビジネス2.0

【方針】お客様の大切なソフトウェア資産を高い品質レベルで維持管理

挑戦

【DIB2.0】デジタルITビジネス2.0

【方針】お客様が構築する新たな付加価値サービスの支援

創造

【CIB2.0】クリエイトITビジネス2.0

【方針】自分達が生み出すサービスで企業や社会に貢献

強化

経営基盤の強化2.0

【方針】DX人財確保・育成、高い株式流動性の確保、ガバナンス強化、サステナビリティ推進

既存

新領域

事業ポートフォリオの変革

リスクコントロール経営

品質向上

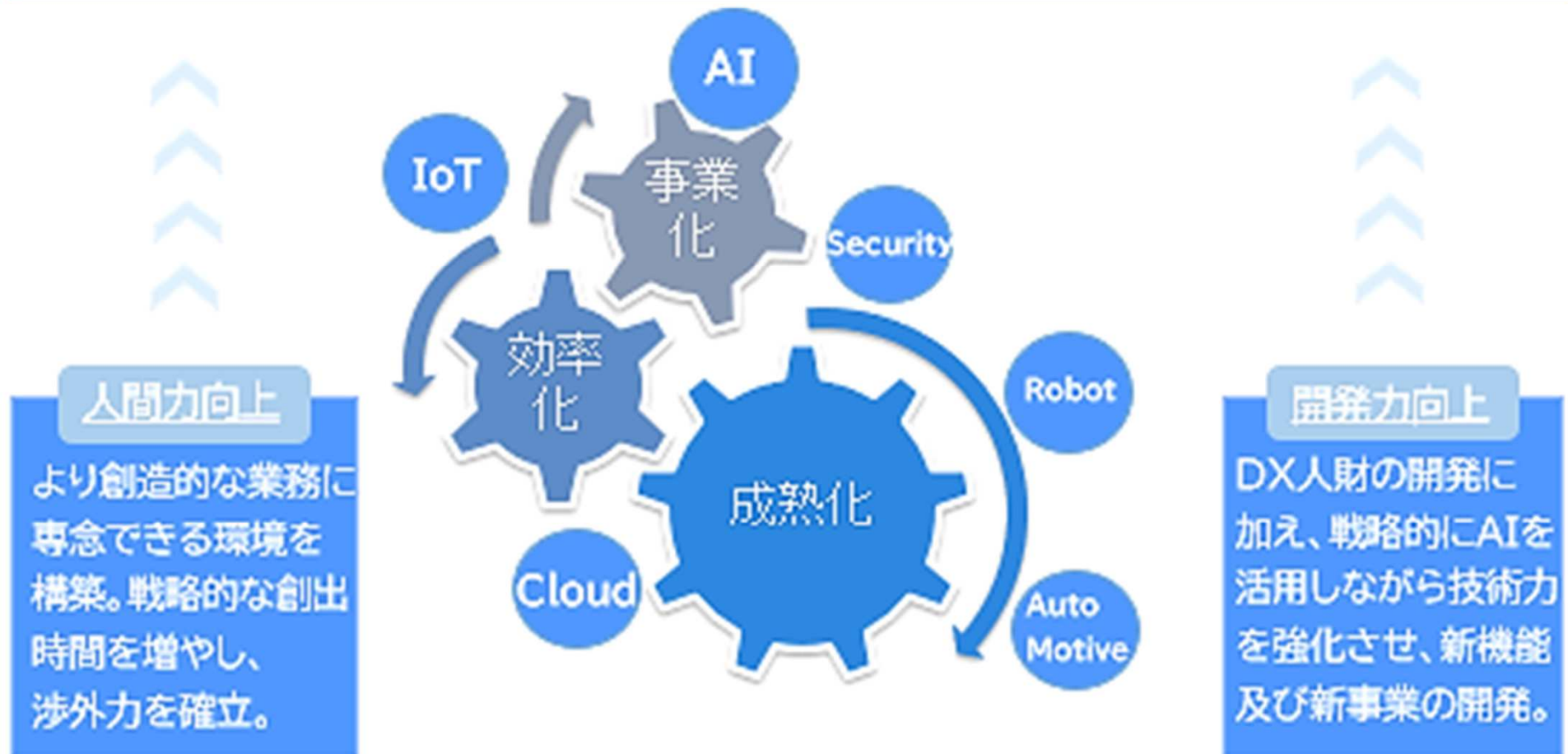
人財開発

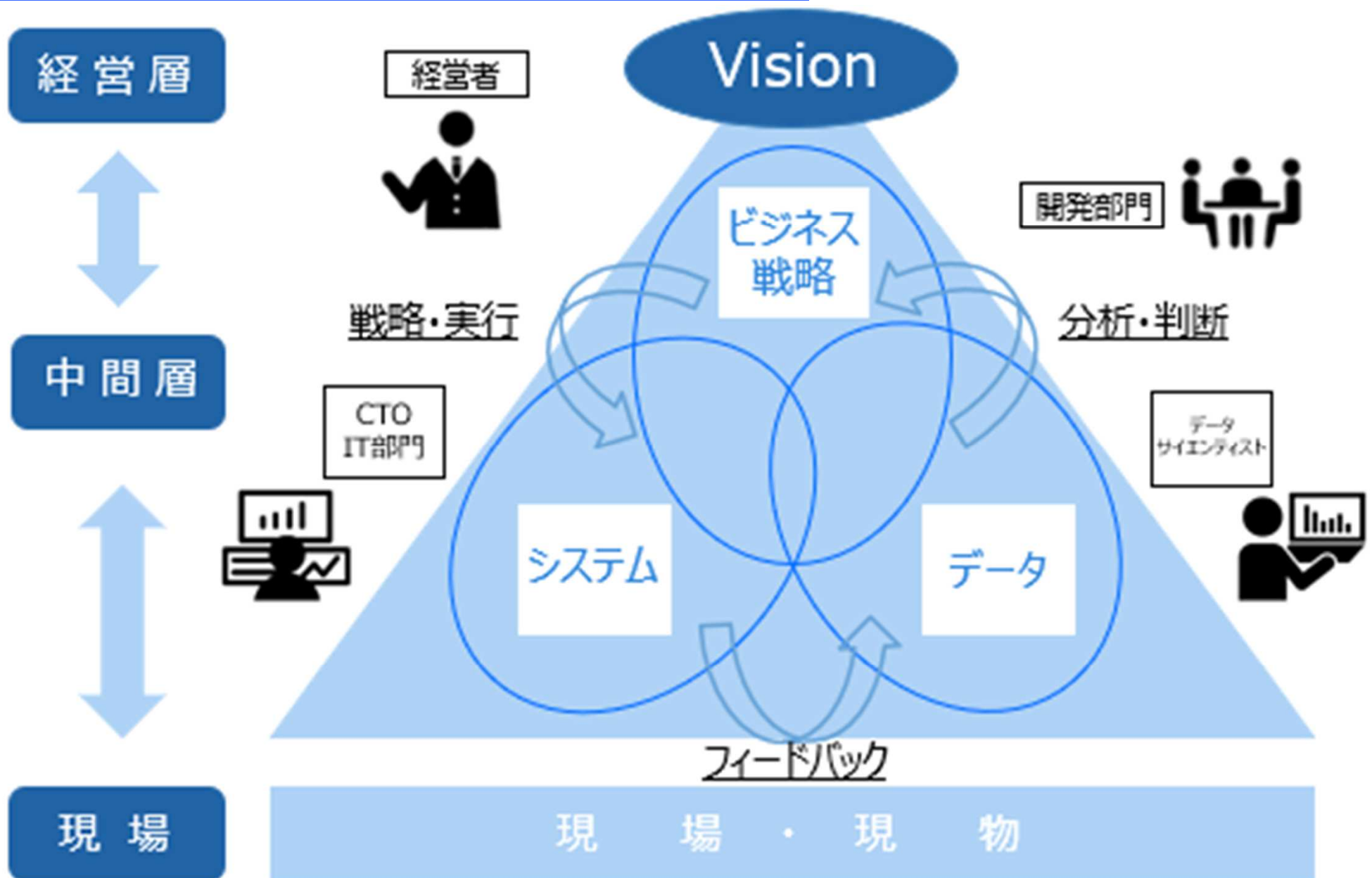
ガバナンス高度化

AI時代の新たな企業文化の確立

お客様の競争優位性を共創貢献

お客様に対して、新たな事業創出の支援と、課題解決を提案・提供。
 既存事業の強化に加え、新たな価値創出を可能にし、成長し続ける企業文化を確立。







2025年1月31日

各位

会社名 株式会社東邦システムサイエンス
代表者 代表取締役社長 小坂 友康
コード番号 4333 東証プライム市場
問合せ先 取締役経営企画本部長 砂賀 昌代
(電話 03-3868-6061)

自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、会社法(平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。)第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を行うこと、及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 買付け等の目的

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題と位置づけ、企業としての競争力の向上と企業価値の最大化を追求することにより、長期かつ安定的な配当を継続するとともに業績や内部資金の確保などを総合的に考慮し、配当性向は40%程度とすることを基本方針としております。また、当社は、年2回の剰余金の配当を行うことを基本としており、これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当は株主総会、中間配当は取締役会であります。上記の方針に基づき、2025年3月期におきましては、2024年9月30日を基準日とする中間配当として1株当たり20円の配当を実施しており、また、2025年3月31日を基準日とする期末配当として1株当たり20円の配当を実施する予定であり、これにより年間の配当金額は合計で1株当たり40円となる予定です。

また、当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって自己株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、市場取引等による自己株式の取得の決定を取締役会の権限事項とすることにより、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的とするものであります。当社の把握できる範囲における、これまでの自己株式の取得実績は以下のとおりです。

この度、「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」に記載のとおり、株式総数100万株を自己株式として取得することを取締役会で決議いたしました。

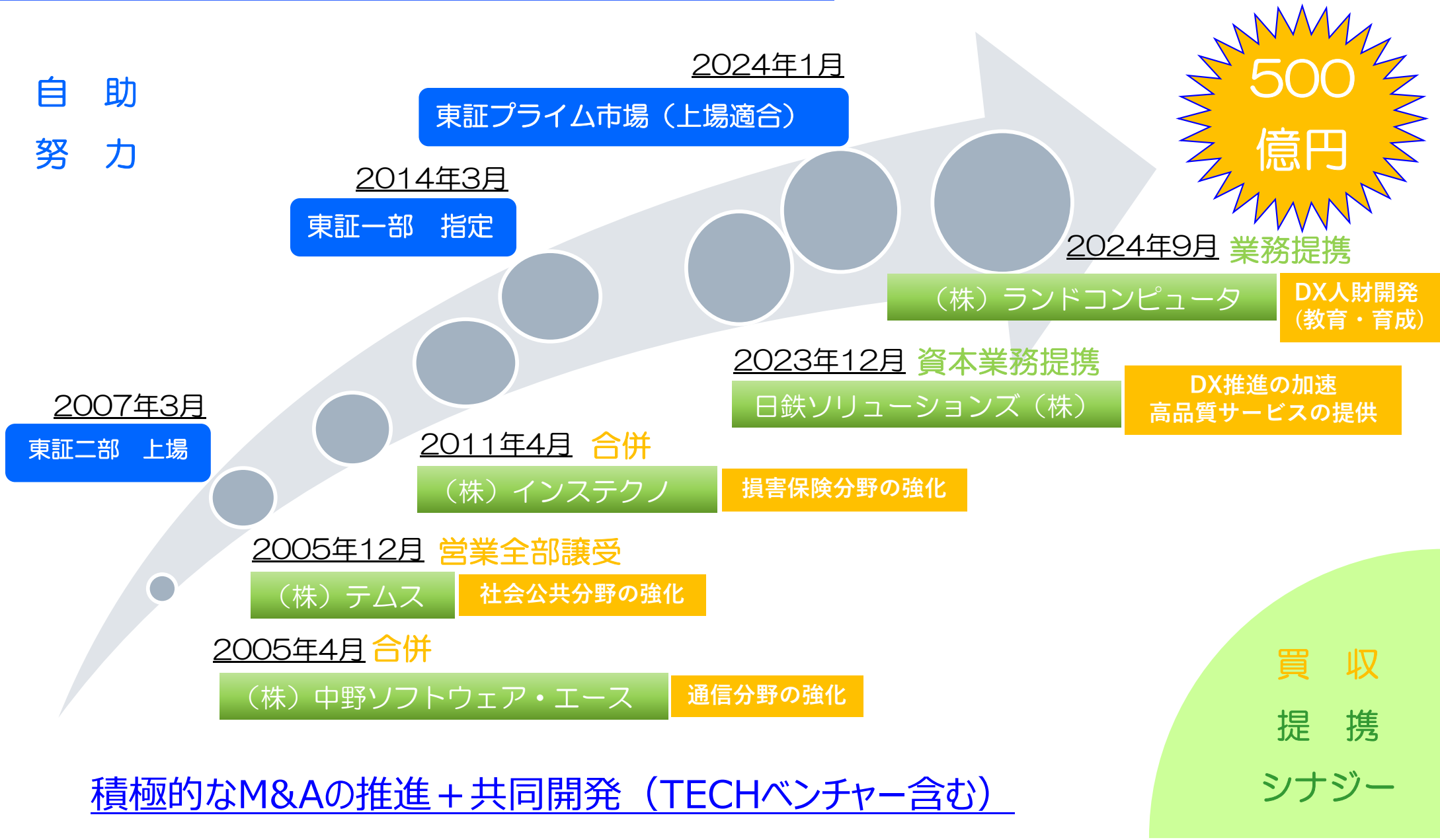
また、当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題と位置づけ、企業としての競争力の向上と企業価値の最大化を追求することにより、長期かつ安定的な配当を継続するとともに業績や内部資金の確保などを総合的に考慮し、配当性向は40%程度とすることを基本方針としております。

上記の方針に基づき、2025年3月期におきましては、2024年9月30日を基準日とする中間配当として1株当たり20円の配当を実施しており、また、2025年3月31日を基準日とする期末配当として1株当たり20円の配当を実施する予定であり、これにより年間の配当金額は合計で1株当たり40円となる予定です。

今後も、**持続的な事業の成長と中長期的な企業価値向上**を目指し、**収益力、資本効率の向上**を図ってまいります。

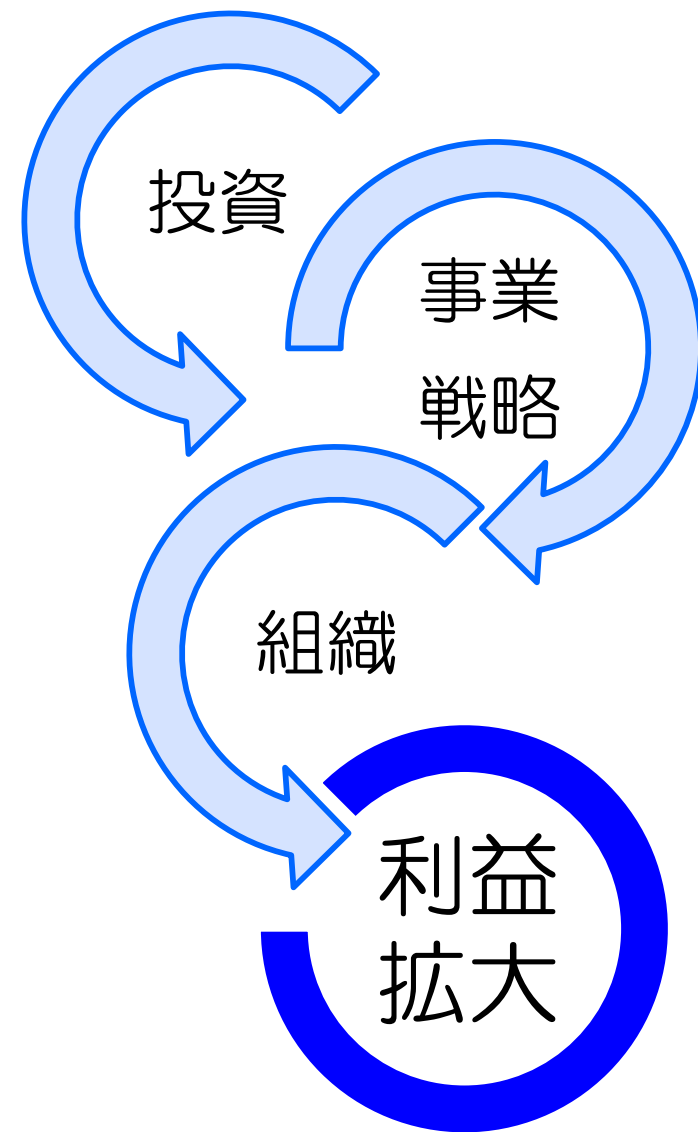
【参考】事業成長イメージ

自 助
努 力



積極的なM&Aの推進 + 共同開発（TECHベンチャー含む）

2. 2025年3月期 第3四半期決算



営業力の強化（戦略的な体系化、プロセスの効率化）

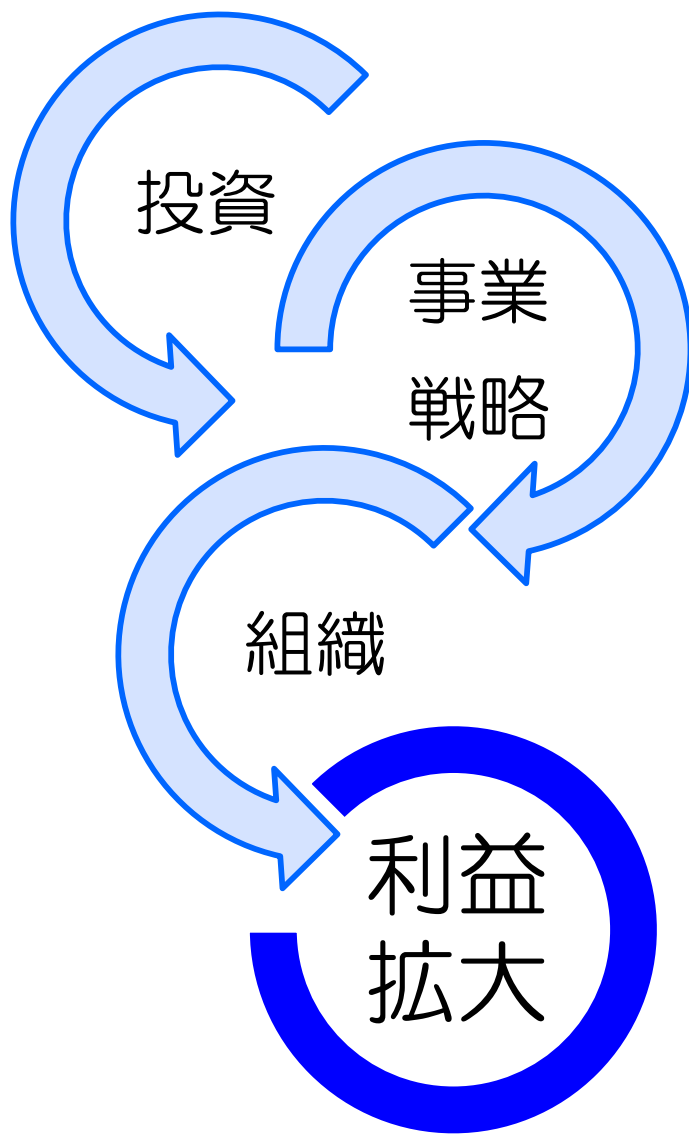
DX開発推進センターを活用した受注規模の拡大

DX案件の受注、拡大

- ◆行政手続きのオンライン化推進プロジェクト拡大
- ◆運輸、医療福祉、情報サービス等への販路拡大
- ◆SaaSビジネスの推進

活況な銀行、カードクレジット領域の営業強化

統合、マイグレーション案件の拡大、新規受注



DX開発推進センターにおける若手社員の育成強化と適正配置

新入社員の教育投資（Java資格、クラウド資格取得）

生産効率を高めるための人的資本マネジメントの再構築

ビジネスパートナーの増強を図るためのパートナープール制度継続

PMO組織によるプロジェクト監視

(単位：百万円)

	2024.3月期 第3四半期(累計)	2025.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
売上高	12,025	13,105	1,080	9.0%
営業利益 (営業利益率)	1,110 9.2%	1,173 9.0%	63	5.7%
経常利益 (経常利益率)	1,118 9.3%	1,185 9.0%	66	5.9%
四半期純利益	763	806	43	5.7%

(単位：百万円)

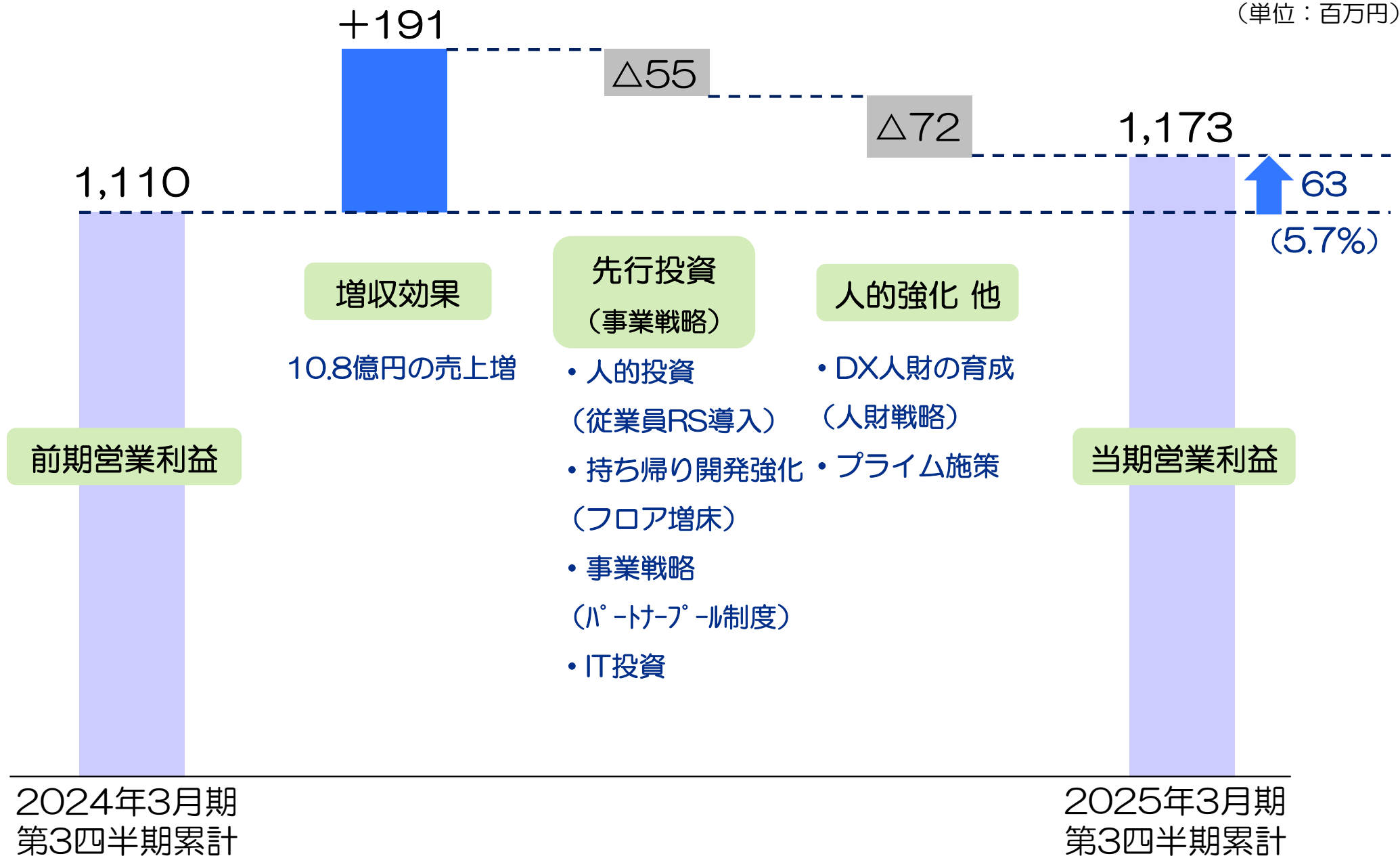
セグメント	2024.3月期 第3四半期(累計)	2025.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
ソフトウェア開発	11,729	12,838	1,109	9.5%
金融	8,800	9,334	534	6.1%
非金融	2,928	3,503	574	19.6%
情報システムサービス等	296	267	△28	△9.7%
合 計	12,025	13,105	1,080	9.0%

(単位：百万円)

業 種	2024.3月期 第3四半期(累計)	2025.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
金 融	8,800	9,334	534	6.1%
銀 行	1,885	2,265	380	20.2%
証 券	1,005	925	△80	△8.0%
生命 保険	1,922	1,972	50	2.6%
損害 保険	3,162	3,067	△95	△3.0%
そ の 他	823	1,103	279	33.9%
非金融	2,928	3,503	574	19.6%
通 信	1,416	1,218	△198	△14.0%
そ の 他	1,511	2,285	773	51.1%

セグメント	業種	売上高増減要因
金融	銀行	(+++) <i>大手銀行のDX化推進 ネットバンキング、次世代RTGS案件拡大</i>
	証券	(-) ネット・スマホ系証券の案件対応の区切り
	生命保険	(+) 大規模なフロントシステム案件の拡大
	損害保険	(-) 基幹システム刷新案件の区切り (+) 商品改定対応拡大
	その他	(+++) <i>カード・クレジット領域でのDX案件拡大 政府系機関の基幹システム刷新案件の継続</i>
非金融	通信	(---) 大手通信キャリアのアプリ開発体制の縮小
	その他	(+++) <i>公務、運輸、医療福祉、情報サービス等でDX案件拡大</i>

(単位：百万円)



3. 2025年3月期 業績見通し

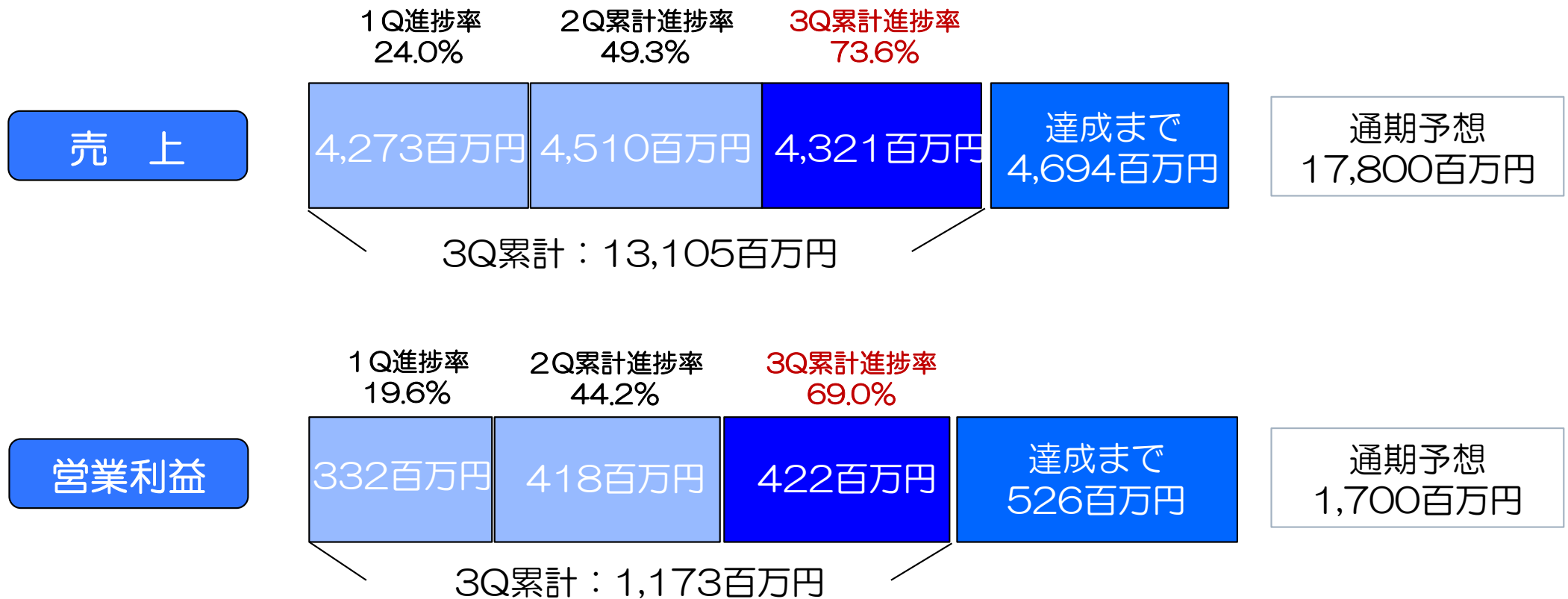
(単位：百万円)

業種		2024.3月期 第3四半期末	2025.3月期 第3四半期末	増減額	増減率
金融	銀行	478	478	0	0.1%
	証券	171	177	5	3.3%
	生命保険	371	321	△49	△13.4%
	損害保険	508	542	34	6.8%
	その他	496	300	△195	△39.5%
非金融	通信	223	266	42	19.0%
	その他	324	401	76	23.5%
合 計		2,574	2,488	△86	△3.3%

(単位：百万円)

	2024.3月期 実績	2025.3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	16,280	17,800	1,519	9.3%
営業利益 (営業利益率)	1,574 9.7%	1,700 9.6%	125	8.0%
経常利益 (経常利益率)	1,583 9.7%	1,710 9.6%	126	8.0%
当期純利益	1,082	1,189	106	9.9%

売上、営業利益ともに、通期計画に対し、69~73%まで進捗



4. 参考資料

(単位：百万円)

前事業年度
(2024年3月31日)

当第3四半期会計期間
(2024年12月31日)

資産の部

流動資産	12,008	12,080
固定資産	1,468	1,442
資産合計	13,477	13,523

負債の部

流動負債	2,052	1,784
固定負債	2,059	2,130
負債合計	4,111	3,915

純資産の部

株主資本	9,063	9,271
評価・換算差額等	301	336
純資産合計	9,365	9,607
負債純資産合計	13,477	13,523

5. 英文資料



3Q FY March 2025 Financial Results

Unit: Millions of yen

	3 r d FY Mar.2024	3 r d FY Mar.2025	YoY	
			Diff.	Change(%)
Net Sales	12,025	13,105	1,080	9.0%
Operating Profit (Operating Profit Margin)	1,110 9.2%	1,173 9.0%	63	5.7%
Ordinary Profit (Ordinary Profit Margin)	1,118 9.3%	1,185 9.0%	66	5.9%
Net Income	763	806	43	5.7%



FY March 2025 Financial Results Forecasts

Unit: Millions of yen

	FY Mar.2024 (Results)	FY Mar.2025 (Forecasts)	YoY	
			Diff.	Change(%)
Net Sales	16,280	17,800	1,519	9.3%
Operating Profit (Operating Profit Margin)	1,574 9.7%	1,700 9.6%	125	8.0%
Ordinary Profit (Ordinary Profit Margin)	1,583 9.7%	1,710 9.6%	126	8.0%
Net Income	1,082	1,189	106	9.9%



Balance Sheet

Unit: Millions of yen

As of March 31,2024

As of December 31,2024

Assets

Current assets	12,008	12,080
Non-current assets	1,468	1,442
Total assets	13,477	13,523

Liabilities

Current liabilities	2,052	1,784
Non-current liabilities	2,059	2,130
Total liabilities	4,111	3,915

Net assets

Shareholders' equity	9,063	9,271
Valuation and translation adjustments	301	336
Total net assets	9,365	9,607
Total liabilities and net assets	13,477	13,523

最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。

* 本資料についてのご注意

本資料は、2025年3月期第3四半期の業績および今後の業績見通しに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。